

## 学校経営推進費 評価報告書（１年め）

### １．事業計画の概要

学校名	大阪府立今宮高等学校
取り組む課題	D 生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共生推進教室卒業生アンケートにおける「共生推進教室設置校で学んだこと」の肯定感の上昇</li> <li>・ 共生推進教室の生徒と総合学科生徒が集う「仲間の会」の発足及び具体的な活動実績の伸長</li> <li>・ 学校教育自己診断（生徒・保護者・教職員）における該当項目の肯定率の向上</li> <li>・ 教職を志す生徒数の増加</li> </ul>
計画名	「風を起こす」―すべての人を大切に、真に共生社会をリードする人材育成校の実現と発信 ～ともに学び、ともに育つインクルーシブ・ルームとリラックス・ルームの設置～

### ２．事業目標及び本年度の取り組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>４．多様性を尊重し、「人・社会・世界」と繋がり共生社会をリードする力の育成</p> <p>（１）共生推進教室を中心に仲間づくりを進め、「ともに学びともに育つ」インクルーシブ教育を推進する。</p> <p>（２）さまざまな人権問題に取り組み、自他の尊厳や多様性を尊重し、互いの違いを認め合い共に生きる教育を推進する。</p> <p>５．V(変動性)U(不確実性)C(複雑性)A(曖昧性)の時代を乗り越える教職員集団「チーム今宮」の形成</p> <p>（１）めざす学校像や育てたい生徒像の実現に向けて、すべての教職員が相互に資質を高め合う同僚性の高い職場づくりを進める。</p> <p>イ すべての生徒の安全・安心を確保し、様々な危機管理体制を整備するとともに、SCやSSWを活用する等、生徒との対話を重視した体制をつくる。</p>
事業目標	<p>（１）共生推進教室を中心に据えたインクルーシブ教育の実践</p> <p>共生推進教室教育の充実を図り、共生推進教室生徒の成長を促すとともに、クラスや授業を超えて、「ともに学び、ともに育つ」をコンセプトに学習活動や部活動、学校行事、共生行事等において、総合学科の生徒とのインクルーシブ教育を実践する。</p> <p>（２）多様な生徒に対する居場所づくり</p> <p>共生推進教室の生徒をはじめ、学校や社会に適応するのが難しい生徒や気持ちのコントロールが難しい生徒など、さまざまな特性をもつ生徒の落ち着く場所として居場所を作り、自己のペースで、社会で生きる力をつけるプログラムを実践する。</p> <p>（３）全国に向けた取り組みの発信</p>

	<p>創立 118 年の伝統校×総合学科×共生推進教室設置校という日本唯一の環境を強みにして、共生社会をリードする人材を育成する教育の成果を全国に発信し、本事業がモデルケースとして他校へ伝播することをもって目標を達成したものとする。</p>
<p><b>整備した設備・物品</b></p>	<p>【物品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生イス、シューズボックス、ワークチェア、フラップテーブル、マルチワークテーブル、ポスターグリッパネル、木製イーゼル、ロッカー3人用、ソファベッド、アコーディオンスクリーン、ノートパソコン、BOX収納、タブレット、ロビーチェア、観葉植物</li> </ul> <p>【改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟1階生徒相談室壁改修（リラックス・ルーム）、管理棟2階教室ほか改修（インクルーシブ・ルーム）</li> </ul>
<p><b>取組みの 主担・実施者</b></p>	<p>「経営企画会議」（校長・教頭・首席）の所管のもと、次の分担にて遂行する。</p> <p>【インクルーシブ・ルーム】共生推進教室室長を主担者として、「インクルーシブ委員会」「共生推進教室担当者会議」で企画・運営し、全教職員が参画・実施する。</p> <p>【リラックス・ルーム】教育相談委員長、教育支援委員長、保健主事の三者を主担とし、それぞれ「教育相談会議」「教育支援委員会」「保健部会」で企画・運営し、全教職員が参画・実施する。</p>
<p><b>本年度の 取組内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に結成した「仲間の会」を中心に共生推進教室の生徒と総合学科の生徒が集い活動する場として、200 普通教室を改修。簡易固定壁を可動式に変えて広々と使える絨毯敷きにしてシューズボックスを設置、マルチな活用ができるワークテーブルと学生椅子を配備し日常の生徒の憩いや交流の場、また、共生推進教室生徒が活躍するイベントや活動の拠点としての利用を充実することができた。</li> <li>・インクルーシブルーム用としてノートパソコンを整備し、また、整備したタブレット端末で、体育館や多目的ホール、食堂等で行ったイベントや活動に役立てた。ポスターグリッパネル及び木製イーゼルはイベントの度に案内板として活用した。また、側に学習支援員のロッカーを整備し、支援員の業務効率が劇的に向上した。</li> <li>・殺風景な教育相談室を改修。内壁を板張りにしてクッションフロアを敷き、フレキシブルに活用でき優しい風合いのフラップテーブルとワークチェア、木製収納 BOX を整備し、観葉植物を飾り、生徒がリラックスできるウッディ調の落ち着いた空間にした。また、体調の悪い生徒が横になれるようにソファベッドとアコーディオンスクリーンを新調し、有効に利用している。相談に来る生徒から「居心地がよくなった」と好評である。さらに、リラックスルーム近くのロビーにロビーチェアを整備し、多数の生徒が利用している。</li> <li>・8月に教職員研修「今宮高校の共生推進教室の発展をめざした座談会」を開催。日常の授業や課外活動等におけるインクルーシブの現状と課題、担当教員の困り事について共有し、「インクルーシブ・ルーム」「リラックス・ルーム」を活用した具体的な実践や、教育相談及び教育支援体制の充実化について話し合い、本校全体でめざす授業及びインクルーシブの推進について考え、教職員の意識が高揚した。</li> <li>・12月に先進的に高等学校で支援教育及び教育相談に取り組んでいる神奈川県立湘南台高等学校を視察。視察した人推委員長と次年度1学年担任がA4版5頁の報告書を作成し、3月の総括会議で報告会を行った。</li> <li>・「インクルーシブ・ルーム」を活用した模擬授業を授業見学週間に実施、教員研修の機会を持った。</li> <li>・「インクルーシブ・ルーム」を活用した交流の場となるイベントとして、文化祭での展示やポッチャ体験会、クリスマス会、送別会などを実施、また、他の場所で開催したイベント（ポッチャ大会、モルック大会、七夕飾り、スタンドグラス教室、クッキー店）等の準備会場として「インクルーシブ・ルーム」を活用、その案内やのピラやHPを作成し配布した。</li> </ul>

<b>成果の検証方法 と評価指標</b>	<p>①共生推進教室卒業生アンケートにおける「共生推進教室設置校で学んだこと」の肯定感（10段階の満足度）8.0以上（R4:7.5 R5:該当なし）</p> <p>②共生推進教室の生徒と総合学科の生徒が集う「仲間の会」の発足。会員15人以上。</p> <p>③共生推進教室の生徒主催のイベントを年6回行う。（R4:年2回、R5:年4回）</p> <p>④学校教育自己診断（生徒）での「障がいのある人たちと『ともに学び、ともに育つ』大切さを学ぶ機会がある」の肯定率88%（R3:69% R4:85% R5:85%）</p> <p>⑤学校教育自己診断（生徒）での「担任の先生以外にも保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる」の肯定率68%（R3:59% R4:66% R5:66%）</p> <p>⑥学校教育自己診断（保護者）での「子どもは心身の健康について気軽に先生に相談できた」の肯定率70%（R3:68% R4:73% R5:68%）</p> <p>⑦学校教育自己診断（教職員）での「本校がめざす学校像を実現するため同僚性を高め協力して教育活動を行う」の肯定率85%（R3:59% R4:65% R5:84%）</p>
<b>自己評価</b>	<p>①共生推進教室卒業生アンケートにおける「共生推進教室設置校で学んだこと」の肯定感8.0以上⇒9.1……………【◎】</p> <p>②共生生徒と総合学科生徒が集う「仲間の会」の発足。会員15人以上。⇒7月に発足し、会員は出入りがあるが常時15人以上……………【○】</p> <p>③共生生徒主催のイベントを年6回行う。⇒七夕飾り、文化祭での出店、クッキー店、ポッチャ大会、ステンドグラス制作、クリスマス会、モルック大会、送別会の8回実施。多くの生徒や教職員、ポッチャ大会は地域の方々も参加して盛況だった。……………【◎】</p> <p>④学校教育自己診断（生徒）での「障がいのある人たちと『ともに学び、ともに育つ』大切さを学ぶ機会がある」の肯定率88%⇒89.4%……………【○】</p> <p>⑤学校教育自己診断（生徒）での「担任の先生以外にも保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる」の肯定率68%⇒74.5%……………【◎】</p> <p>⑥学校教育自己診断（保護者）での「子どもは心身の健康について気軽に先生に相談できた」の肯定率70%⇒71%……………【○】</p> <p>⑦学校教育自己診断（教職員）での「本校がめざす学校像を実現するため同僚性を高め協力して教育活動を行う」の肯定率85%⇒85%……………【○】</p> <p>・インクルーシブ教育の推進と並行して、生徒のセーフティネットの充実を図るため、教員体制・組織化の再構築を遂行した。また、有償ボランティアの活用を可能な限り拡充し、共生推進教室で学ぶ生徒の支援をきめ細かく行うことができた。しかし、交通費込みの3時間または4時間3,000円という費用弁償のみの支給では任用が困難な実情があり、浪速区報にも求人募集の広告を掲載していただくなど苦心している。</p> <p>・教育相談室改修の効果として生徒の満足度の上昇に加え、教員の意識の向上が認められ、学校全体の相談体制の充実につながった。結果として、学校教育自己診断（教職員）の「組織的に対応できる体制」98.1%、「運営委員会は十分に機能」96.2%、「校内研修組織が確立」92.3%と、肯定的回答率がいずれも飛躍的に向上した。</p>
<b>次年度に向けて</b>	<p>課題① 「仲間の会」加入生徒数の増加、活動内容の拡充及び充実による全生徒との交流、つながりの深化。「仲間の会」を部活動のように、固定的に捉える生徒が多く、会員として加入するまでには至らなかった生徒も散見された。</p> <p>課題② 「仲間の会」または「共生推進教室」による地域貢献の拡充</p> <p>課題③ インクルーシブ教育の充実に寄与する教職員研修等を通じたさらなる教職員の意識・意欲の向上</p> <p>課題④ 「リラックス・ルーム」を活用した教育相談体制の充実</p> <p>取組み① 「仲間の会」のメンバーを固定的に捉えるのではなく、「ゆるい集まり」として、数人のコアメンバーに加えてイベントごとに希望者を募り、ピクニック企画や、あるいは合宿を視野に入れた行事を計画するなど、新たな取組みを実施する。ま</p>

	<p>た、年度当初の始業式や対面式等で、「仲間の会」の説明と加入の呼びかけを行う。</p> <p>取組み② ボッチャ大会やモルック大会を浪速区制百周年事業に紐づけて地域参画型の大会に発展させる。また、今年度実施した地域の保育園児と一緒に病院施設の花壇の整備などの活動を充実させる。</p> <p>取組み③ 次年度も先進校の視察及び教職員研修を実施し、意識・意欲の向上を図る。</p> <p>取組み④ 再構築した教育相談体制の運用が迅速かつ適切に行われるよう、運営委員会でUUDA（観察・情勢判断・意思決定・行動）ループを意識し、タイムリーな改善を進めていく。「リラックス・ルーム」を毎日昼休みにオープンし、生徒が相談しやすい環境を整備する。</p>
--	--

### 3. 事業費報告

今年度事業費総額	4,582,101	円
----------	-----------	---

#### 積算内訳

\* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

積算内訳

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
2 旅費	1	先進的取組学校の視察	¥29,660	2	¥59,320
	2				
	3				
				小計	59,320
3 消耗需用費	1	学生イス	¥14,300	32	¥457,600
	2	シューズボックス	¥66,000	2	¥132,000
	3	ワークチェア	¥28,050	9	¥252,450
	4	フラップテーブル	¥99,000	3	¥297,000
	5	マルチワークテーブル	¥17,490	8	¥139,920
	6	ポスターグリップパネル	¥18,150	1	¥18,150
	7	木製イーゼル	¥6,600	1	¥6,600
	8	ロッカー 3 人用	¥26,730	3	¥80,190
	9	ソファベッド	¥69,795	1	¥69,795
	10	アコーディオンスクリーン	¥39,600	1	¥39,600
	11	観葉植物	¥4,586	1	¥4,586
				小計	1,497,891
8 備品購入費	1	ノートパソコン	¥128,260	1	¥128,260
	2	ボックス収納（P-33）	¥266,200	1	¥266,200
	3	ボックス収納（P-32）	¥177,100	1	¥177,100
	4	タブレット	¥104,830	2	¥209,660
	5	ロビーチェア（肘付左）	¥221,650	1	¥221,650
	6	ロビーチェア（肘付右）	¥221,650	1	¥221,650
	7	ロビーチェア（肘無左）	¥194,700	1	¥194,700
	8	ロビーチェア（肘無右）	¥118,250	1	¥118,250
				小計	1,537,470
9 工事請負費	1	管理棟 1 階生徒相談室壁改修（リラックス・ルーム）	¥474,100	1	¥474,100
	2	管理棟 2 階教室ほか改修（インクルーシブ・ルーム）	¥1,013,320	1	¥1,013,320
	3				
				小計	1,487,420
				合計	¥4,582,101